

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

京葉線前代未聞の提案修正 快速廃止

JRの傲慢な攻撃が破たん



職場でも会社は、鉄道業務も乗務員もないがし

な攻撃の破たんです。

JRは地元の住民・自治体の声も聞かず、まともに話し合うこともなく、一方的に「快速全廃」を打ち出しました。これに対して、内房線・外房線沿線を含めて沿線住民、自治体から次々と怒りの声があがりました。

地域から次々と怒りの声

千葉支社は1月15日、京葉線の特快全廃朝夕夜の快速廃止について、平日朝の上り快速2本に限り運行継続すると発表しました。ダイ改発表後の見直しは前代未聞です。

県と8市町が相次いで撤回要求

- 1月4日、千葉県知事が千葉市社長に対して口頭でダイ改見直しを申し入れ
- 1月9日、市原、袖ヶ浦、木更津、君津、富津の内房線沿線5市が連名で、千葉支社に対してダイ改撤回・再検討を求める申し入れ
- 1月10日、外房線沿線の一宮町、茂原市、大網白里市の3市町も連名で、千葉支社に対してダイ改撤回を求める申し入れ

1月15日の「2本存続」発表をうけて…

- 千葉市長「反映はごく一部にとどまっていて、依然、納得できるものではない。」
- 千葉県知事：「本質的な解決に至っていない」

動労千葉とともに3月ダイ改・統括センター化撤回へ闘おう。

今こそ会社の攻撃を打ち破ろう。地域の怒りとともに職場から声をあげよう。

ろにして、「鉄道ありきで考えるな」「これからは価値創造だ」といつてきました。

根本的に間違っている

行路内に「その他時間」を組み込み、委員会活動や駅券売機前での案内などをやらせ、鉄道の安全を守る乗務労働を「片手間」扱いしてきました。ジョブローテーションで働く者の生活も、本人の希望も無視して、必要もない配転を繰り返し強制してきました。

運輸区全廃・統括センター化提案では、「融合化を進める」「利益を生み出せ」ということが繰り返され、「安全」は前置きのように語られるだけです。

こんな会社のあり方は根本的に間違っています。その矛盾と破たんがダイ改をめぐって現れています。